

2023年6月20日  
グリーンコープ  
生活協同組合連合会  
第三十一期  
通常総会

# 産直生産物の利用拡大や 環境に配慮した 商品開発に取り組みました

# 共生の時代

みどりの地球を  
みどりのままで

## 連合会総会報告

発行：グリーンコープ  
生活協同組合連合会理事会  
編集：共生の時代・編集部  
〒812-8561  
福岡市博多区博多駅前一丁目5番1号  
博多大博通ビルディング3階  
TEL092(481)7923  
FAX092(481)7876  
https://www.greencoop.or.jp/



2023年6月20日、グリーンコープ生活協

同組合連合会の第三十一期通常総会が開催され、すべての議題について賛成多数で承認・可決されました。昨年と同様に、コロナ対策を取りながら会場に集い、オンラインでも結ぶハイブリッド開催となりました。

2022年度の活動報告の中から新しい取り組みや特に力を入れた取り組みについて、また、2023年度の活動方針(要旨)について、報告します。

### 第一号議案

#### 2022年度活動報告承認の件

2022年度、グリーンコープ連合会は、グリーンコープの運動と事業を推進する業務、グリーンコープ連合会の業務の強化と合理化に取り組みました。また、環境を守る取り組みや商品開発も継続しています。

#### 産直畜産物の利用普及に取り組みました

これまででない畜産飼料価格の高騰などによって産直畜産物の価格が上



グリーンコープ連合会  
専務理事  
西村 大輔さん

がったことから、利用が前年を下回りました。それにより、特に産直豚の在庫を大量に抱えることになったため、新規組合員向けの無料お試しサンプルや「産直畜産物まとめて利用大特価」などの企画、商品おすすめ委員

会が検討した利用普及のためのチラシ配布などに取り組みました。結果、年度末には産直豚肉の在庫過多は解消できました。全国的に蔓延した鳥インフルエンザが2022年末にグリーンコープの産直生産者の農場でも発生し、2023年初めより産直たまごが不足となりました。組合員には大

きな不便をかける事態となりましたが、予約利用者へは安定して届けることができました。平飼い産直たまごは、現在取り組みをしている産直生産者の半量しか引き取れていませんが、今後グリーンコープで全量を引き取り、カタログでも企画して利用を広げていきたいと考えています。

#### 10年ぶりのリニューアルに着手しました

組合員の嗜好の変化に伴い、減塩やカロリー低減など、様々な世代が求める特徴を持つ商品にすることを重視して、2023年秋の登場をめざして検討を行っています。

#### 「不要な添加物は使用しない」という原則に基づき、おいしくて安心できる商品を実現します。

九州のみならず北海道や東北など寒冷地の野菜の確保も進めています。野菜全体の欠配率は2020年の22.5%から14.6%と大きく改善しました。今後も欠配の解消に向けて取り組みを

強化します。

#### 環境に配慮した包材への変更を進めました

フィルム包材の商品を中心に、バイオマス原料や再生ペット(PET)へ切り替えを進めています。一般ではバイオマス原料など環境配慮成分を数%含む程度が実情となっていた中、30~50%の配合割合を実現させました。また、環境配慮型包材の商品には、カタログで環境配慮原料の含有量をマークで案内しています。

#### GCCアプリの充実化を図りました

共同団体組織委員会で開催されたGREENエコ

ノート(Web版)をGCアプリの中に加えました。組合員がグリーンコープ商品の利用や4R運動に取り組むことで削減できたCO<sub>2</sub>を示す機能を備えるなど、環境問題に対する意識を高め、楽しく実践できるツールとして期待されています。

#### 「商品の確かさ」を確認する活動から商品の改善・開発につながっています

組合員が直接、製造現場を確認し、生産・製造の努力や苦労、確かさを共有することで、組合員が商品の良さを実感して伝え、広めています。コロナ禍等の影響で実施できなかった活動もありましたが、オンラインで実施できた活動もありました。活動に参加した組合員から、商品をもっと良くしたいと積極的に意見・要望が出され、改善・開発につながった商品もありました。

### 質疑応答

**Q.** 「商品の確かさを確認する活動」について、以前オンラインで行う相談をしたところ、メーカーから「ライブ配信ではなく録画で」と言われたことがあります。しかしそれでは、目で見て約束通り作られているか確認するという活動の目的と合致しないので、お断りしました。オンラインでの活動を広げていくとのことですが、目的があいまいになってしまうのではないのでしょうか。

**A.** コロナ禍でもオンラインを活用して活動を増やしていきたいという趣旨でした。メーカーの事情で立ち入りできない場所もありますが、録画できる所ならライブ配信していただけるようにしていきます。また、今後はリアルでの活動を積極的に行い、実際に目で見て確認できるようにしたいと考えます。

### 第三号議案

#### 2023年度活動方針決定の件

一、グリーンコープの主人公である組合員がグリーンコープ運動を展開し、仲間を増やし、利用を高めます。

二、生命(いのち)を守り育むグリーンコープの食べものを食べて、私たちの安心・安全な食べものを守り、より良く育てていきます。

三、「グリーンコープ商品の確かさを確認する活動」を重要なグリーンコープの組合員活動とし、メーカー・生産者との交流によって、商品管理の強化と商品の利用拡大をすすめていきます。

四、グリーンコープ商品を見直し、改善と開発をすすめていきます。

五、組合員の伸びに呼応する生産や製造の実態を再構築し、組合員、メーカー・生産者、ワーカーズ(労働協同組合)、職員とともに利用の拡大をすすめていきます。

六、グリーンコープらしいこだわりある特別企画商品(雑貨)を増やしていきます。

七、グリーンコープ連合会と単協の経営を一層強化します。

八、四つの共生の願いに基づく取り組みをすすめます。

九、各委員会の方針は次のとおりです。

#### (一)商品検討委員会

(1)新規提案の商品について、検討決定します。

(2)新規の農畜水産物の産地や新規のメーカーを視察します。

(3)日常的な商品管理等に関する報告事項について確認します。

#### (二)商品おすすめ委員会

(1)生産者やメーカーとのつながりを深め、単協での利用普及に活かします。

→単協で行なわれた産地やメーカーの視察・交流などの取り組みを共有します。

(2)オールグリーンコープで行なう産地やメーカーの視察・交流に取り組みます。

(2)グリーンコープの「産直」や「商品」について知ることで、そのよさを実感し、オールグリーンコープで利用普及の取り組みをすすめます。

→単協での利用普及の取り組みを共有します。

→学習を通して利用普及につなぎます。

(3)組合員の声を活かした広報を通して利用普及をすすめます。

2023年6月20日
グリーンコープ
生活協同組合連合会
第三十一期
通常総会

第一号議案 2022年度活動報告

2022年度のグリーンコープ連合会
商品検討委員会と商品おすすめ委員会は、
昨年度に引き続き、コロナ対策をしながら
開催しました。
2022年度の各委員会の活動を報告
します。

連合会 商品検討委員会

委員一人ひとりが商品提案に真摯に向き合い
長く愛される商品の検討に取り組みました。

丁寧に検討を積み上げ
心から納得できる
商品を生み出しました

2022年度も、グリーンコープの基本的な考
え方に基づいて「こんな
ものが欲しい」「こうだ
つた方がいいな」という思
いを大切に、市場の動向
も意識しながら、組合員

連合会 商品おすすめ委員会

生産者やメーカーとの交流や学習会を通して
つながりを深め、利用普及に取り組みました。

産地やメーカーとの
視察・交流を行い
信頼関係を築きました

2022年度は、コ
ロナ禍により中止していた
現地での視察・交流が3
年ぶりに再開され、生産
者やメーカーから直接話
を聞く機会が増え、顔の
見える関係をあらためて
実感し、それが活動への
エネルギーとなりました。
産直びん牛乳につい
ては、工場視察や学習会
を開催しました。オンラ



専用のタンクをはじめ、工場での製造の様子を写真や動画で視察。

インでの工場視察では、
生乳を自然に近い状態で
組合員に届けるために、
専用工場で機械と人の目
で丁寧に管理・製造して
いることを知りました。
先輩組合員を迎えての学
習会では、産直びん牛
乳を次の世代にもつなげ
ていけるように、みんな
でしっかり利用していき
たいと感じました。
北海道の米の生産者と
の視察・交流では、実際
に圃場を見ながら話を聞
きました。今期からネオ

ニコチノイド系農薬は使
用せずに栽培していると
聞き、遠く離れた産地にも
組合員の思いが届いて
いることを知り、大変嬉
しく感じました。
みかん産地の視察・交
流では生産者からは今年
こそは会えるかと首を長
くして待っていたと話が
あり、こんなにも楽しみ

製造ラインの細部まで撮
影されていて、工場の様
子を詳細に知ることがで
きました。メーカーの思
いやこだわりを知って、
安心して食べることがで
きる商品であることを実
感し、広く組合員に伝え
たいと感じました。
学習会で学んだことを
利用普及につなげまし
た

グリーンコープの様々
な商品や産直についての
学習会を開催しました。
「産直」「商品」学習会
は2日間でのべ618人
の参加があり、多くの組
合員がグリーンコープの
食べものの良さを、より
一層理解することができ
ました。

環境に配慮した包材の
検討を行い、よりシンプ
ルな包材にすることを目
指しました。また、多く
の利用につながる検討も
行い、組合員に商品の内
容が伝わりやすいデザイ
ンを選択した商品もあり

既存商品に替わる冷
凍白和え、冷凍白和え
(ひじき)の開発では、丁
寧に検討を積み上げ、子
どもから大人まで幅広い
年齢層に好まれる商品を開
発することができまし

既存商品の企画終了に
伴い開発したキッチン
のしゃぼん固形は、台所
から地球環境を考えてい

各生協による開発商品
について、組合員の思い
をもとに開発された商品
の、誕生までの豊かな検
討の様子や制作されたチ
ラシなどを媒介・共有し、
オールグリーンコープの
商品として利用普及に努
めました。

人や環境にやさしい
商品の開発を行いました

既存商品の企画終了に
伴い開発したキッチン
のしゃぼん固形は、台所
から地球環境を考えてい

製造ラインの細部まで撮
影されていて、工場の様
子を詳細に知ることがで
きました。メーカーの思
いやこだわりを知って、
安心して食べることがで
きる商品であることを実
感し、広く組合員に伝え
たいと感じました。

環境配慮型包材を
採用した商品

環境配慮型包材を
採用した商品

環境配慮型包材を
採用した商品

環境配慮型包材を
採用した商品

グリーンコープ
生活協同組合連合会
第三十一期 通常総会
2022年度決算報告
(貸借対照表・損益計算書)は
ホームページに
掲載しています

連合会第三十一期通常総会 議案採決の結果
Table with 4 columns: 代議員数, 賛成, 反対, 保留. Rows include 2022年度活動報告承認, 2022年度決算報告承認, etc.

連合会第三十一期通常総会で選任された役員
List of elected officers including 池野 健治, 谷澤 孝子, 大坪 綾子, etc.